

# 福祉生活病院常任委員会資料

(平成24年6月12日)

## 【 件 名 】

- 1 保育士養成のあり方検討委員会の検討状況について  
(子育て応援課) …… 1
- 2 薬物乱用防止を若者に訴える「紙芝居」について  
(医療指導課) …… 2

福祉保健部

# 保育士養成のあり方検討委員会の検討状況について

平成24年6月12日  
子育て応援課

## 1 目的

本県における保育の現状や保育士需要の将来推計等を踏まえ、保育専門学院の今後のあり方、現任保育士研修の充実策等について検討を行う。

## 2 検討経過・スケジュール

	期 日	検 討 内 容
第1回	H23. 11. 17	県内の保育士養成の現状について説明、意見交換
第2回	H23. 12. 20	保育専門学院等の現地視察、ヒアリング
第3回	H24. 1. 23	将来推計、保育専門学院を移転充実する場合における課題につ
第4回	H24. 2. 14	いて
第5回	H24. 6. 1	これまでの検討に係る論点等の整理について
第6回	H24. 7. 26(予定)	検討委員会の報告書案について

※8月を目途に報告書を取りまとめ予定。

## 3 検討状況(概要)

### (1) 県内の保育士養成必要数について

#### ○将来推計

3歳未満児の保育ニーズは増えているが、少子化に伴い県内の保育士必要数は漸減する。

#### ○年度途中の保育士確保への対応

雇用条件の改善等により確保していくことが必要。一方で、優秀な保育士を雇用するためにも余裕を持った養成数とすることも大切である。

### (2) 保育専門学院を移転・充実させる場合における課題について

○移転に伴い必要な施設設備の整備により学習環境は充実するが、多大な財政負担が必要。

○幼保一体化が進む中、今後さらに保育士資格と幼稚園教諭免許の併有が求められるが、移転をしても通信教育による幼稚園教諭免許取得が必要な状況は変わらない。

(佛教大学との提携により8割の学生が通信教育課程を受講しているが、卒業時の免許取得はそのうち3割程度(平成22、23年度卒業生)にとどまる。)

○教育課程の6割超を外部講師に頼っており、改善には新たな専任教諭の雇用が必要。

### (3) 県内の学校法人と連携する場合における課題について

○入学定員の増により少なくとも県内の保育士需給バランスを維持できるようにする必要がある。

○県内学校法人の学費は保育専門学院に比べ高いため、経済的な理由で就学が困難となる学生の支援策を検討する必要がある。

### (4) 県の保育士養成に係る役割について

○児童虐待や発達障がいの子、保護者支援など専門職としての保育士の質の向上を図るとともに、幼保一体化に向け、現任保育士の研修を充実することや、保育士配置(加配)に対する支援を充実することが必要。

## 薬物乱用防止を若者に訴える「紙芝居」について

平成24年6月12日  
医療指導課

我が国でも、インターネット、携帯電話の普及、興味本位・ファッション感覚での使用等により若者の間にも大麻、覚醒剤、MDMA等の合成麻薬、違法ドラッグの乱用が広まっています。

そこでこのたび、鳥取県と鳥取県薬物乱用防止指導員協議会が協力して、今まで以上に若者に薬物乱用防止を訴える啓発資材として紙芝居を作成しました。

### 1 制作者 <sup>まつむら ひろし</sup>松村 宏 (米子市出身)

イラストレーター、風刺漫画家、紙芝居師、NPO法人喜八プロジェクト理事  
平成24年「勝手にまんがサミット応援団」結成

### 2 紙芝居の内容

母親とのコミュニケーションに不満をかかえる「ウサミちゃん」が主人公  
人生相談に行った先の不思議な占い師の女性に、薬物乱用のてんまつを疑似体験させられ、その恐ろしさに目覚め、母親と協力し合う生活を選ぶというストーリー

### 3 今後の紙芝居の活用予定

薬物乱用防止指導員が行う学校等での薬物乱用防止セミナーや県が行う薬物乱用防止活動で活用する。

### 4 参考

#### (1) 薬物乱用防止指導員 (鳥取県が委嘱：全県で210名)

<主な活動内容>

- ・ 県内3か所で高校生等のヤングボランティアの協力を得て街頭キャンペーンを行う。
- ・ 学校、地区公民館等において薬物乱用防止に関する講習会を行う。

#### (2) 完成披露

鳥取県薬物乱用防止指導員中部地区講習会で制作者の松村宏氏による実演披露を行った。

- ① 日時 6月5日(火) 午後1時30分～午後3時30分
- ② 場所 中部総合事務所講堂



【紙芝居のキャラクター】